



# News Letter



News Letter of Research Center for the History of Otemon Gakuin

## 学院130年志特集



1962年 陸上競技大会 (於大阪城グランド)



1962年 中学校の修学旅行



1963年 高等学校の文化祭

### 学院の 思い出

卒業生寄贈品より



1969年 大学の講義風景



1969年 大学の1号館前にて



1970年 大学の卒業記念パーティー

学院志研究室の収集資料には卒業生から寄贈されたものが数多くあります。今回ご紹介するのは現在の大手前中・高等学校の14期生で、追手門学院大学の1期生にあたる鶴毅氏の寄贈写真です。中学校在籍の昭和37(1962)年から大学卒業の昭和45(1970)年まで、約1,700枚もの写真が一括して残されています。在学中の日常風景やイベントなど、写真の向こう側から学内の笑い声が聞こえてくるようです。

(小倉久美子)

# 130年志編集にかける思い

追手門学院大学教授・学院志研究室副室長 齊藤 一誠

学院志研究室の副室長として、また周年事業推進オフィス長として、追手門学院130年志編集等の企画構成を担当されている齊藤一誠さん(とう・かずのぶ)先生へのショート・インタビューを行い、年志編集への思いをうかがった。

## —まずは齊藤先生が本大学に着任されるまでの経歴をお話ください。

大学生時代は国際基督教大学(ICU)でソシール言語学をベースとしてフランス文学を学びました。

大学卒業後はソニー株式会社に入社し、宣伝制作部に所属して、各種の広告を手がけたり、次世代DVDの情報戦にも参加したりしました。

その後ソニーを早期退職し、明治学院大学の広報室長になりました。



齊藤一誠先生

明治学院では大学のブランド価値を高める戦略に従事し、150周年記念事業にも携わりました。そして母校のICUが60周年を迎えるにあたり周年コミュニケーションに従事し、それらを踏まえて、追手門でも130周年記念事業に携わることになりました。

## —着任されてからの追手門学院の印象はいかがでしょう？

追手門ではいろいろなことへの動きが早いというのが印象的です。もしかしたら関東と関西の文化の違いで、理屈より実践という感じかも知れません。

## —130周年記念事業への思いをお願いします。

これまで他大学でも周年活動に携わってきましたが、今にして振り返ると「こうしておけば良かった。」という点がいくつかあります。追手門での周年活動では、これまでやり残してきたことをきちんとやってみたいと考えています。

## —130年志編集のスケジュールと現況をお話ください。

130年志では、まず「改革の10年」を中心に進め

ています。今年の秋までに草案を作成し、来春までにバージョン・アップさせます。

同時に「改革の10年」以前の学院の歴史についても情報を整理して原型を作ります。来年春以降には仕上げていき、最終的に2018年10月末には発行し、11月の130周年記念式典に間に合わせる予定です。

## —130年志編集事業について、学内外の皆さんに注目してもらいたい点をお話ください。

追手門でもこれまでいくつかの年志が作られてきました。今回は「改革の10年」にスポットを当て、これまでとは少し違った編集にしたいと考えています。

大学に限らず、組織の改革とは巨視的に見れば、世の中の動きと連動しています。各大学が持っている教育財産と社会の動向とをどのようにいち早く接合させるかということは、実は追手門においても130年前の創設時からずっとなされてきたはずで、130年志では、「改革史観」によって浮彫りにされた学院の姿を、グラフィック要素も配慮して編集します。



インタビューの様子

長く企業や大学の広報畑で活躍し、現在は追手門学院130周年記念事業の企画を担当されている齊藤先生の学院130年志への意気込みをうかがうことができました。学院志研究室でも130年志編集作業のお手伝いをする予定です。(聞き手 安田、小倉)

# 追手門学院アーカイブKintoneの紹介



学院志研究室では、情報メディア課の協力のもとに、3種の年表データ・ベースを構築し、入力作業を進めています。

## 1 130周年年表台帳

130周年年表台帳は、これまで学院内で刊行されてきた各年志収録の年表の内容等をすべて入力し、比較、参照できるようにするデータ・ベースです。

重要度	学舎	年	月	日	タイトル	詳細	出典	ページ数	関連ファイル	タグ
■	小学校	1888	05	14	高専期之始中務部・事務課に就任		小学校年表	324		イベント
■	小学校	1888	03		校長挨拶 職員の顔笑み溢るに於て社員の本懐のかけがれを継承		小学校年表	324		総論
■	小学校	1888	03		附属小学校設立の経緯について社説に説く		小学校年表	324		総論
■	小学校	1888	03	01	高専中期の歴史を振り返り、改めて北近畿形小学校設置委員長上野隆幸の挨拶		小学校年表	324		総論
■	小学校	1888	11	11	山形県内橋大田中学校、開校され、本校に事業継承を継承された		小学校年表	324		イベント
■	小学校	1888	08		北近畿近畿大田中学校		小学校年表	324		イベント
■	小学校	1888	07	12	大久保文彦校長の挨拶	学校設置年月表(大久保文彦校長)と並	小学校年表	324		総論
■	小学校	1888	05	14	高専期之始中務部・事務課に就任		学舎志	324		イベント
■	小学校	1888	04	05	設置開始		小学校年表	324		イベント
■	小学校	1888	04	03	開校式	資料科長、高専科長の挨拶を執った。高専	小学校年表	324		イベント

入力項目は、重要度、学舎、年月日、タイトル、詳細、出典、ページ、関連ファイル、タグ(組織、建物、イベント)からなっています。

最初に台帳のページを開くと、日付順に表示されますが、各項目順に整列することができるので、利用目的に応じて並び替えたり、データを取り出したりできます。

2017年6月19日現在、1,792件の記事が入力済みです。

現時点では年志等の二次的編纂物の情報のみを入力していますが、続いて一次文献の情報や画像データの情報も入力していくことで、学院の歴史を一覧できるマザー年表(年表台帳)とすることを目指しています。

## 2 「改革の10年」データ・ベース

「改革の10年」データ・ベースは、130年志編集

の主眼である「改革の10年」執筆の材料を提供するため、学院報『LIBERTAS(リベルタス)』(創刊号〔2007年3月〕～)に見える「改革」関連の事項や記事を簡単に参照できるように構築しました。

入力項目は年月日、学舎、タグ(ガバナンス改革、教学改革、入試改革、キャリア教育改革、施設・インフラ改革、式典・講演会・研修、その他)、詳細、関連ファイルなどからなります。

それぞれの記述は『LIBERTAS』のPDFデータとリンクしており、クリックすることで当該ページを閲覧することができます。このようなデータとのリンクは、1項目につき5つまで可能です。

## 3 新聞・雑誌掲載記事データ・ベース

新聞・雑誌掲載記事データ・ベースは、2007年から広報課が集約してきた記事を加工してデータ・ベース化しています。

項目は、年月日、媒体名、記事内容、学舎などからなります。年月日で並び替えると、1年365日のほとんどの日が埋まるので、例えば日めくりカレンダーを作り、追手門の歴史に関心を持ってもらうためのツールとして活用できます。

以上3種の年表データ・ベースは、130年志を執筆、編集する担当者が自由に書き込んで共有するためのツールとして考案されました。現時点で一般に公開する予定はありませんが、将来的には本アーカイブをもとにして追手門学院の歴史を広く知らせていく手段として活用することも想定されています。

(安田純也)

# お知らせ

## ◆研究室の活動 (2017年3～5月)

記念資料室での打合せのほか、室員会議等を開催した。

3月22日 室員会議 (会議室 2A)

4月7日 Kintone データ・ベースに関する打合せ  
(資料室)

5月8日 茨木中高事務資料保管室調査

5月18日 室員会議 (会議室 4A)

## ◆2017年度第1回室員会議

会議では着任、再任された室員、調査員、資料室担当の紹介、中高70年志や学院130年志の進捗状況報告が行われたほか、梅田ひろ子氏 (㈱アステム専務取締役) にショート・レクチャーをお願いした。

梅田氏は、大手前中高の社会部歴史班の企画で追手門80年志を手がけ、中学生の時から資料室の整理に携わってきた。その後も小学校100年志等、大手前での年志編纂に何度も取り組み、これまで取り



梅田ひろ子氏

上げられなかった卒業生を見える形で出すこと、絶対に残さなければならない史実を残すこと、などを意識してきた、という。

今度の中高70年志についてはレイアウト例に即して紹介し、最後に、結果としてマイナスだったできごとを年志の中でどういう形で出すのかを議論してほしい、という課題を提示して報告を終えた。

## ◆2017年度学院志研究室員・調査員

室長 藤吉 圭二 (社会学部教授)

副室長 齊藤 一誠 (国際教養学部教授)

室員 佐藤 伸行 (経済学部教授)

室員 真銅 正宏 (国際教養学部教授)

室員 豊島 眞介 (国際教養学部教授)

調査員 住谷 研 (初等中等室)

調査員 藤原 栄一 (初等中等室)

調査員 横井 貞弘 (元大手前中高教諭)

調査員 武田 昌一 (高野山大学客員教授)

職員 小倉久美子

職員 安田 純也

## ◆あとがき

今年度最初のニューズレター、トップページは中高を経て大学で一期生として学ばれた鶴毅氏より寄贈いただいた写真から、当時の様子を伝えるものをご紹介します。◇インタビューに登場された副室長の齊藤一誠先生は、年志の編集に加え学院創立130周年記念行事の準備なども担当されています。◇この春より資料室の事務スタッフに新しい方をお迎えしました。分野は異なるものの歴史の分野で研鑽を積まれた頼もしいお二人です。◇これまでのお二人は春から別の場所でご活躍です。特に田村綾さんには困難な時期の学院志研究室を支えていただきました。この場を借りて感謝の意を表したいと思います。

(藤吉圭二)

追手門学院大学 一貫連携教育部 学院志研究室 NEWS LETTER 第5号

2017年6月30日発行 (編集 安田、小倉)

学院志研究室

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号 追手門学院大学4号館1階 (内線4405)

TEL : 072-665-5062 (直通)

E-mail : archives-g@otemon.ac.jp

URL : <http://www.otemon.ac.jp/research/labo/gakuinshi/>



◇訂正：ニュース・レター5号4ページの「お知らせ」欄に紹介されている室員会議の記事の内容に事実関係の誤りが見られました。報告者の梅田氏を始め、読者の皆様にお詫び申し上げます。

箇所	誤	正
p. 4 左 11. 18-19	追手門 80 年志	創立 80 周年の追手門展
p. 4 左 1. 20	資料室	記念室
p. 4 左 11. 22-23	小学校 100 年志	山桜会百年志